

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	建築保全標準対象拡大小委員会	主 査 名：野口 貴文
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (改修工事運営委員会)	委員長名：早川 光敬 主査名：橘高 義典
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2019 年度 ・鉄筋コンクリート造建築物の保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事の標準仕様書・規準の理解 ・鉄骨造建築物および木造建築物の保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事の標準仕様書・規準のあり方・方向性の検討 2020 年度 ・鉄骨造建築物および木造建築物の保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事の標準仕様書・規準の目次構成・委員構成・作成スケジュールの検討 ・経年劣化以外によって損傷を受けた建築物の補修・改修に関する標準仕様書・規準の制定の必要性の検討	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 野口貴文(東京大学)、伊山潤(東京大学)、藤田香織(東京大学)、青木謙治(東京大学)、石山央樹(大阪市立大学)、五十田博(京都大学)、伊藤琢海(東京理科大学)、鹿毛忠継(建築研究所)、兼松学(東京理科大学)、河端昌也(横浜国立大学)、奥石直幸(早稲田大学)、近藤照夫(ものづくり大学)、澤田樹一郎(島根大学)、中島正夫(関東学院大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a140-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 鉄筋コンクリート造建築物の標準仕様書・規準の理解が深まった。 2. 鉄骨造建築物および木造建築物の標準仕様書・規準のあり方および方向性の検討も十分になされた。
委員会活動の問題点・課題	1. 材料施工分野と構造分野との間における建築物の保全に関する概念の違いの相互理解と共通化を図るのに時間を要する。 2. 構造種別間での建築物の保全に関する概念の違いの相互理解と共通化を図るのに時間を要する。